

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター わっこ		公表日		2025年 3月 28 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	10	1	・リハビリで使う教材や道具があるので、予想される使うものは準備可能である。 ・訪問先の支援者に説明の資料が必要そうな時には事前に用意している。 ・乗用車が1台しかないため、利用管理の表を作り、工夫を行っている。	ご家族や訪問先のニーズをしっかりと把握し、想定される範囲にはなるが、事前に準備するよう努めます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	1	・利用者様のニーズにあわせて、適切なスタッフを選出してサービス提供を行っている。 ・担当療法士が訪問支援の実施はできているが、児童発達支援の職員が訪問することは現状の体制では難しく実施困難であるため、体制を整える必要がある。	相談内容に応じて、適切なスタッフを選出するよう今後も努めます。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	2	・同じ担当のスタッフと事前・事後に計画や支援内容を共有している。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	・その都度、改善されている。 ・今回のような保護者向け評価表は初回なので不明。	今回実施した評価内容は、職員で共有し、都度改善に努めます。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2	・定期的な意見を把握する機会は設けていないが、職員間でその都度情報交換・共有を行いながらサービス提供を行っている。	職場会議も活用し、意見がある場合は積極的に挙げるようにし、業務改善につなげていくようにします。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	7	・第三者による外部評価は実施していない。	法人と検討します。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	3		・職員での勉強会を継続して実施します。 ・併設の病院が実施する、感染対策や医療安全の学習会にも参加しています。 ・島根県の主催する医ケア児や強度行動障害の研修会など今後も職員の希望を確認しながら受講機会を設けていきます。	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	10	1			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	2	・計画作成には訪問担当者も関わっている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	11	0	・計画作成のために、担任や担当者のニーズや思いを聴取しながら作成している。	今後も事前に訪問先や担任等と連携し、意向を盛り込むよう努めます。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	2			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	9	2	・ガイドラインの存在を知らなかった。	ガイドラインについて、職員全員に周知していきます。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1			

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	2	・支援時に新たに課題が発見され解決できなかった場合は一旦持ち帰り、他の支援員と情報共有や検討、評価を行い、助言を返すようにしている。	・利用児に関わる職員との共有は確実にいきます。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	11	0	・訪問先でできること、できないことを確認しながら、できる範囲で利用者の発達を促す支援を提案している。 ・ホームページを確認したり、保護者からの情報を得るようにしている ・訪問先の支援者の対応をみながら支援方法を提案している	・一方的にならないよう、訪問先の理念や支援を確認しながら、実際の現場で対応できる方法を検討していきます。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	11	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	3	・就学など生活環境が変わってしまった場合、見直しが不十分になることがある。	・訪問頻度が高くないため、その都度訪問支援計画を作成する形となっています。訪問前には必ず見直しを行います。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	1	・参加できない場合は、相談員を通して事前に情報提供を行っている。	・基本的には、利用児の担当が参加している。参加できない場合は、今後も情報提供を行うよう努めます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	2		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	2		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7	4		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	2	・児発管が専門部会に所属し、参加している。	・職員の調整ができる限り参加はするようにしています。 ・会議の内容など報告したり、情報提供していくように努めます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	4	・共有する手段があるとよい。	・当事業所での家族支援プログラムはありませんが、他機関での研修は掲示等で情報提供を行うようにしています。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	11	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	11	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	11	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	2	・今後していく必要があると思われる。	・相談支援専門員が立ち上げたご家族による班会有り、今後掲示し、案内していく予定にしています。保護者同士で交流する機会にいただけたらと思います。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	・すぐに対応することが難しい時がある。	・併設の病院、児童発達支援、相談支援事業所の職員とも連携しながら対応していけるよう努めます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	4		

	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	11	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6	5	・話し合いの場を設けられる時とそうでない時がある。難しい場合は、その場で話しながら進めたり、報告書を通して、訪問の時に確認したことを伝えるようにしている。	・訪問先の都合も確認しながらできる範囲でカンファレンスという形をとっていきたいと思っています。難しい場合は、報告書や電話も活用し、支援内容の確認をしていけるように努めます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	11	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	11	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	2	・契約時に簡単な説明はするが、マニュアルの具体的な内容までは周知できていない。 ・訓練までは実施できていない。	児童発達支援センター全体で、避難訓練や救急訓練は実施しています。安全計画については、廊下にファイルに綴じて置いてありますが、マニュアルに関する周知方法は今後検討していきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	2	・訪問先の対応に従う	当事業所での安全計画を踏まえた上で、訪問先で起こった場合には訪問先の対応に従うように努めます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	1	・共有が不十分だと感じる	ヒヤリハットの共有について、職員全体に分かりやすい方法を検討していきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0		